

令和3年度 松本蟻ヶ崎高等学校 重点目標の自己評価・関係者評価の結果

評価 A(十分)、B(おおむね十分)、C(やや不十分)、D(不十分)の4段階

項目	評価の観点	自己評価	関係者評価	成果と今後の課題・改善策
1 文武両道を目指した時間の有効活用を図る				
	(1)生徒が自ら具体的な学習目標を持つことができるよう、教科指導と進路指導を行うことができたか。	B	B	各学年共に、紙面やClassroomで学年通信を毎週発行し、時期に応じた進路や学習に関する情報を提供することができ、生徒自身の意識を醸成し、保護者との共有ができた。コロナ禍ということもあり、学年集会の実施が難しいこともあり、進路実現に向けて学年全体を高揚させるための機会が持ちにくかったのは残念である。
	(2)クラブ活動や生徒会活動に積極的に参加しながらも、家庭学習の時間を確保できるよう環境づくりを進めることができたか。	B	B	多くの生徒が、クラブ活動で仲間と共に切磋琢磨する中で、心身ともに成長を遂げ、大会等で成果を挙げている。その一方で、学習との両立が課題となっている。家庭学習の時間を確保するため、終了時刻の厳守や下校指導、平日や休日の休養日の確保の徹底等、今後、より一層の働きかけが必要である。
2 多様な希望に沿った進路実現に向けたカリキュラムの改善に取り組む				
	(1)キャリア教育の観点から、生徒の主体性を喚起し、協調的・発展的助言をすることができたか。	B	B	概ね目標に沿った取り組みが各学年通じてされている。今後さらに生徒の自主性をどう喚起し、十分な助言ができるか、学校全体として取り組んでいく必要がある。
	(2)外部の講師による講演会等を実施し、生徒の進路意欲を喚起することができたか。	B	A	コロナ禍において、全体での講演会の実施が難しい状況下にあるが、対面とオンラインの併用、講座人数の制限、Classroomに撮影した動画を配信するなど臨機応変に工夫して実施することができ、生徒の進路に関する意欲を喚起することができた。今後も、内容を精選し、より良いものにしていきたい。
3 主体的な挨拶と清掃に取り組む				
	(1)自然な挨拶が出来る校風を実現し、良好な人間関係を構築することができたか。	B	A	概ね良好である。今後もこの良い校風が継続されるよう努めていきたい。職員からも積極的に挨拶や声かけを行っていききたい。
	(2)全員が自主的に清掃を行えるよう徹底することができたか。	B	B	昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染対策で、密を避けるため、できるだけ少人数で清掃・消毒作業に取り組んできた。今後も、生徒が自主的に、校舎内外の美化に取り組む姿勢を育んでいきたい。
4 安心、安全な学校作りを目指す				
	(1)安心、安全の学校作りをするため、懇談会等を利用して状況把握をすることができたか。	B	B	保護者懇談、個人面談を通して、生徒の様子を把握し、ご家庭と情報を共有することができた。昨年度に引き続き、感染対策で、地区PTAは中止となった。校舎等施設の安全面については、今後も、状況を把握して要望を聞き、対応をすすめていきたい。
	(2)いじめ・体罰の未然防止のため、常に生徒・職員の意識啓発に努めることができたか。	B	B	HR、学年、教科、部活等で、きめ細かく生徒の情報を共有している。今後も、職員間で継続的な研修を重ね、意識啓発に努めていきたい。

【学校関係者評価委員からの主な意見】

- ・来年度もコロナ対策は継続すると思うが、できることに見通しをもって取り組んでいただけたらありがたい。
- ・両立は非常に難しいと思う。ただ、進みたい道が決まれば、スイッチが入ると思う。そのために、3年生からではなく、1年生の時から将来の道を見つけられるよう、先輩の体験談を聞く機会があればよいのではないと思う。
- ・書道部のように優勝しなくても、努力が報われなくても、努力することを周り（学校・家庭）が認めてあげることが大事だと思う。
- ・主体的な挨拶については個人差があると思うが、運動部をはじめとして部活動に入っている子どもたちは挨拶が自然に身につくと思う。これは、学校の責任ではなく家庭のしつけが基本でだと思う。